

令和5年度 第5回政策推進会議報告

日 時 8月18日 13時30分～16時

場 所 WEB 会議室

出席者 20人

1 令和5年度施策評価結果（令和4年度決算）について

総合政策局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）今回の施策評価は、私自身初めて評価する側の立場で各局の話聞き、非常に苦勞しながらなんとかここまでくることができたと思っている。

次の予算編成にも関わってくるが、重点項目としては四つ挙げている。過去に比べ、少し財政が改善してきている状況であり、また、社会の情勢としては物価が上がりつつあり、インフレ基調になっていると理解している。

デフレ基調が続く場合、貨幣の1円当たりの価値が上がるため、どちらかという投資よりは借金を返すことに対して積極的にならざるを得ないが、インフレ基調になってきた場合は、その円の価値というのは下がるため、様子を見ながら、しっかりと「需要」を作るということがとても大事であると考えている。

これまででは財政の収支を均衡させる、借金を返すというところにかなりエネルギーを費やしてきたが、もしこのまま日本の全体の景気がインフレ基調となるのであれば、子育て支援の充実や、まちの魅力向上に向けた取組、地域経済の活性化、DX等、こういうところにもきっちり投資をするという姿勢を示していくことが重要である。

もちろん、社会情勢にも注視し、慎重に取り組まなければならないが、市としてはそういう段階にいけるかいけないかという境目にきているのではないかという感覚を持っており、これから尼崎市は非常に伸びる要素がたくさんあるため、この前向きな施策評価を踏まえ、各局前向きな検討をよろしく願いたい。

2 令和4年度決算の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。

3 その他

○各局から台風7号に係る災害対応について課題共有。(以下、意見等)

- ・(市長)今回は台風ということ、事前にわかっていた災害ということもあったが、各部、管理職から若手職員まで事前の準備から市役所をあげて機動的に対応いただいた。各局長からも職員に対して慰労いただきたい。

自主避難所について、受け入れ体制の問題もあり、ホームページ上でも受付は原則5時までとなっていたが、その時間に間に合わない人、気づくのが遅れた人などいるのではないかと考えている。どうしても困っている場合はいつでも連絡くださいというようなメッセージを少し添えるなど、もう少し市民に寄り添った発信を検討いただきたい。

一方で警報が解除されてもなかなか避難者が帰られない場合、職員の負担も相当大きいため、事前に受入の際の条件やその伝達方法も含めた対策の検討が必要だと感じた。

- ・(森山副市長)災害対応に係る課題が見えてきた部分もあり、危機管理安全局で対処すべき課題整理を行えば今後の防災計画にも生かせると考えている。今回の台風からPDCAをまわすチャンスをもたらすと捉え、今後の対応等、各局においてもよろしく願いたい。

○保健局長からコロナの発生状況について説明。(以下、意見等)

- ・(市長)コロナの治療薬については、公費負担がなくなった場合、相当高額となると聞いている。市民に過度な負担とならないよう、国の動向にも十分注視していただきたい。
- ・(保健局長)了解した。

○経済環境局長からあま咲きコインのプレミアムキャンペーンについて説明。